

教員紹介

マークの説明

歴 主な経歴 研 現在の主たる研究領域・テーマ 修 博 各学位論文の主指導ができる教員

臨心 臨床発達心理士の有資格者 公認心理師の有資格者

修士論文の指導については、学生の研究内容により主指導担当以外の教員も論文指導を行います。
詳細はオープンキャンパスなどでお問い合わせください。

庄司 正実

修 博

SHOJI, Masami

教授・研究科長 医学博士

歴 筑波大学医学専門学群卒業、筑波大学大学院博士課程医学研究科修了。現・目白大学心理学部心理カウンセリング学科教授

研 1) 少年の薬物乱用・入所非行児を対象として乱用の実態を疫学調査している。 2) 産業精神保健：うつ病、職場ストレス、ソーシャルサポートなど。

河野 理恵

修 博

KAWANO, Rie

教授・専攻主任 博士(心理学)

歴 筑波大学大学院博士課程心理学研究科修了。筑波大学心理学系技官・助手を経て現職

研 専門は老年心理学と認知心理学。主な研究テーマは、1) 高齢者のライフスタイルに応じた支援の構築、2) 高齢者のジェネラティビティなど。

今野 裕之

修

KONNO, Hiroyuki

教授・学長 心理学修士

歴 筑波大学博士課程心理学研究科単位取得満期退学。筑波大学心理学系技官・助手を経て現職

研 ① 対人関係の社会心理学 ② 臨床社会心理学、特に自尊感情・自己制御と精神的健康の関連 ③ 組織のリスク・マネジメントについての心理学的研究

川端 美樹

修

KAWABATA, Miki

教授 社会学修士

歴 慶應義塾大学文学部卒業、同大学大学院社会学研究科社会学専攻後期博士課程単位取得満期退学。福島女子短期大学助教授等を経て現職

研 社会心理学、メディア・コミュニケーション論の視点から、現代社会でメディアが人々の社会的現実認識や心理・行動に与える影響について、実証的研究を行っている。

倉盛 美穂子

修 博

KURAMORI, Mihoko

教授 博士(心理学)

歴 広島大学大学院教育学研究科博士課程後期課程修了。福山市立大学教育学部教授、日本女子体育大学体育学部教授を経て現職

研 専門は、発達心理学と教育心理学。主な研究テーマは、1) 子どもの社会性に関する研究：「リスクを伴う遊びが子どもの発達に及ぼす影響」、2) 大人の子どもの支援に関する研究：「学習や遊びにおける自己決定の効果」など。

奈良 雅之

修

NARA, Masayuki

教授 文学修士

歴 日本大学文理学部卒業、日本大学大学院文学研究科教育学専攻博士後期課程満期退学、早稲田医療専門学校卒業(鍼灸師)。北里大学講師等を経て現職

研 健康心理学、東洋医学等、1) ボディワーク・呼吸法・運動行動実施時の感情変化に関する研究、2) 事象関連電位などによる選択反応行動の神経心理学的研究等。

大嶋 玲未

修

OHSIMA, Remi

准教授 博士(心理学)

歴 立教大学大学院現代心理学研究科心理学専攻博士課程後期課程修了。立教大学大学教育開発・支援センター学術調査員、助教を経て現職

研 専門は、産業・組織心理学(組織行動・キャリア)。研究テーマは職種におけるダイバーシティ(特に障害者雇用)推進に向けた環境づくりなど。

財津 亘

修

ZAITSU, Wataru

准教授 博士(文学)

歴 立命館大学大学院文学研究科心理学専攻博士課程前期課程修了。富山県警察本部刑事部科学捜査研究所主任研究官を経て現職

研 犯罪者プロファイリング、ポリグラフ検査、目撃証言など、犯罪心理学、捜査心理学を専門とする。

沼田 真美

NUMATA, Mami

専任講師 博士(心理学)

歴 目白大学大学院修士課程心理学研究科修了、筑波大学大学院博士課程人間総合科学研究科修了。関西国際大学心理学部専任講師等を経て現職

研 専門は、社会心理学、ポジティブ心理学等。主な研究テーマは、傷つきからの回復を促したゆるしの概念や対人関係の維持および適応に関わる心理的要因等に関して、実証的研究を行っている。

教員紹介 検索ページ

著書・論文歴、所属学会、学会発表など教員についての詳細は、
こちらをご参照ください。

本学公式サイト

「教員紹介 検索ページ」はこちら▶

